

本編4巻

触手から
される媚毒は
狂わすのだ

彼女が
ひとりも
ひとなりも
ないま

巡礼の旅をする心優しき
修道女リーナ

彼女は立ち寄った教会にて
隠れ潜む悪魔と遭遇

悪魔祓いに失敗した彼女は
魔の手にかかってしまう

邪悪な快楽に身を穢され
彼女の信仰は翳ってゆく

巨乳修道女
リーナの敗北

R18
ADULT ONLY

Area14 presents

巨乳
修道女

リアーナの 敗北





忌々しい聖職者め
俺の食事を
邪魔しやがって

もう少しの所で
全ての生命力を
食らうはずだったのに

生あるものを
仇なす悪霊よ

あるべきところへ
還りなさい



ああ妬ましい
妬ましい!!

その生命の輝きが
妬ましい

ふひひッ

よくみたらお前
素晴らしい力を
もっているな

それを食らうことが
できれば俺はより
高みへ昇れる

...



他者から力を
奪ったとしても
業が深まるだけ

より厳しい裁きが
待っていますよ

うるせえ!!

その輝きを
よこせえええ!!



へへへ
堪んねえなあ

あんなガキ
後回しだ

身体を隅々まで
翳ってから

キョウ

フル

てめえの生命力を
吸いつくしてやるよお

クワ

ひやーッ
ひやひやひや

浅ましい
悪霊め

ひゃ!?

もう遠慮は
いりませんね

少女の安全ため
仕方ないことでしたが

お前のようなものに
身体を触れさせるなど
実に不快でした

なんだ
その力は

あがが

主よ不浄なるものへ
聖なる裁きを与えたまえ

やめろッ

私の身体がッ

やめッ



あるべきところへ
還りなさい

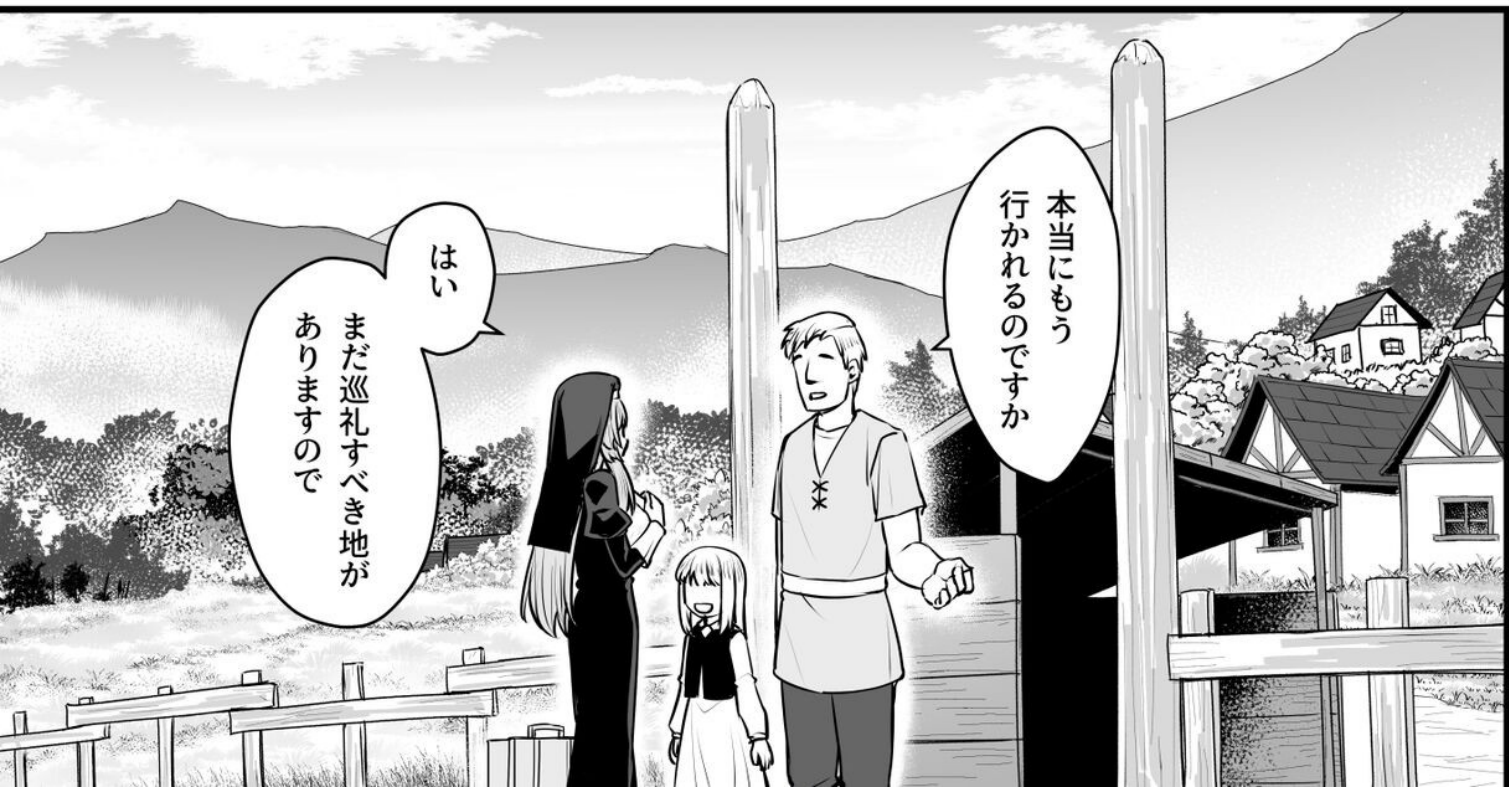
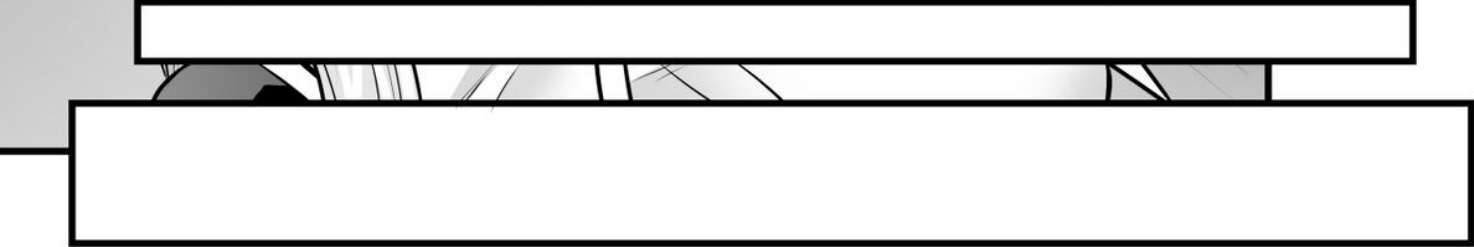
フユウウ

悪しきは
去りました

これで
もう大丈夫

スウ

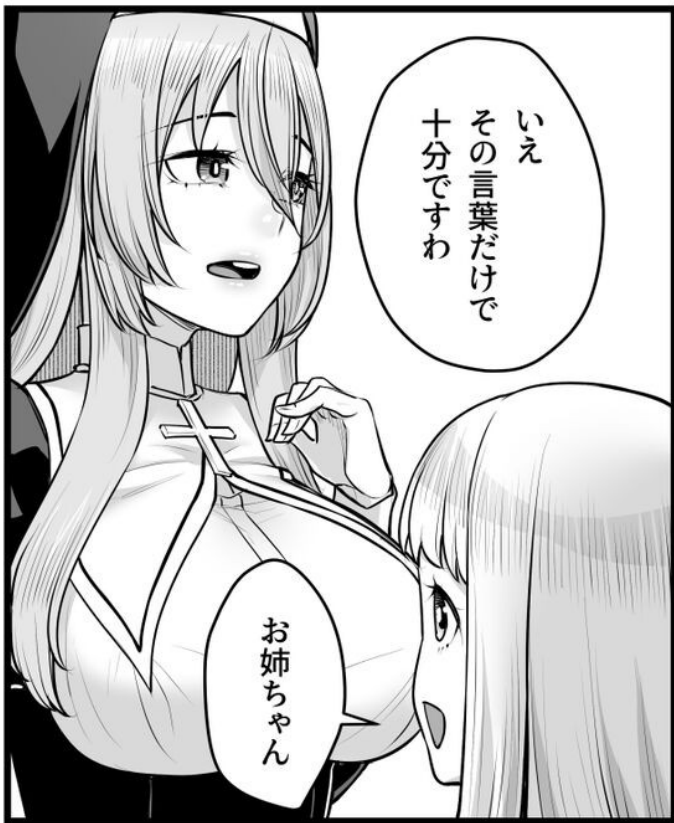
スウ



本当にもう
行かれるのですか

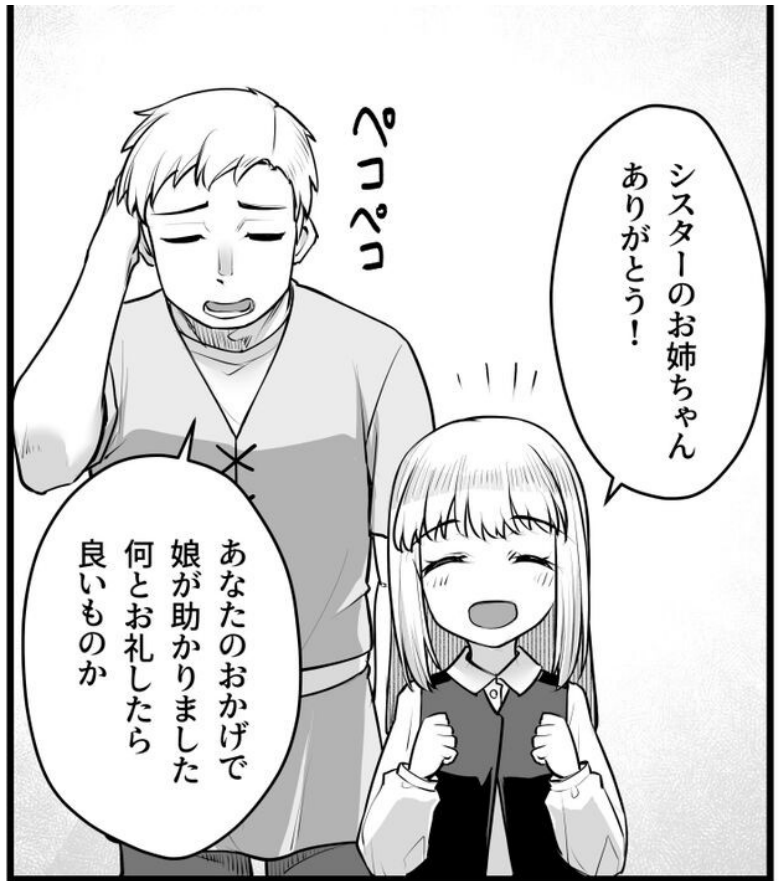
はい

まだ巡礼すべき地が
ありますので



いえ
その言葉だけで
十分ですわ

お姉ちゃん



シスターのお姉ちゃん
ありがとう！

あなたののおかげで
娘が助かりました
何とお礼したら
良いものか



そうねえ
シスターに
なりたいのなら

大聖堂で神に身を捧げ
修行すればなれるけど



どうやったら
お姉ちゃんみたいなの
シスターになれるの？

お、おい

あらあら



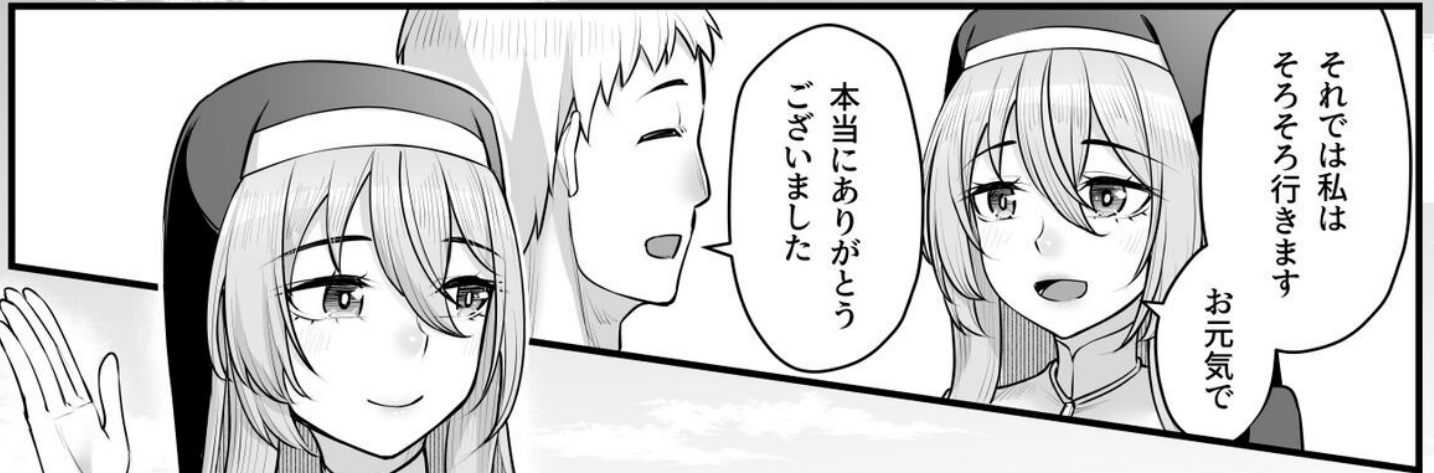
人助けは
ここでもできるわ

まずは家族や周りの人を
大切にしましょうね

約束ですよ

うん！

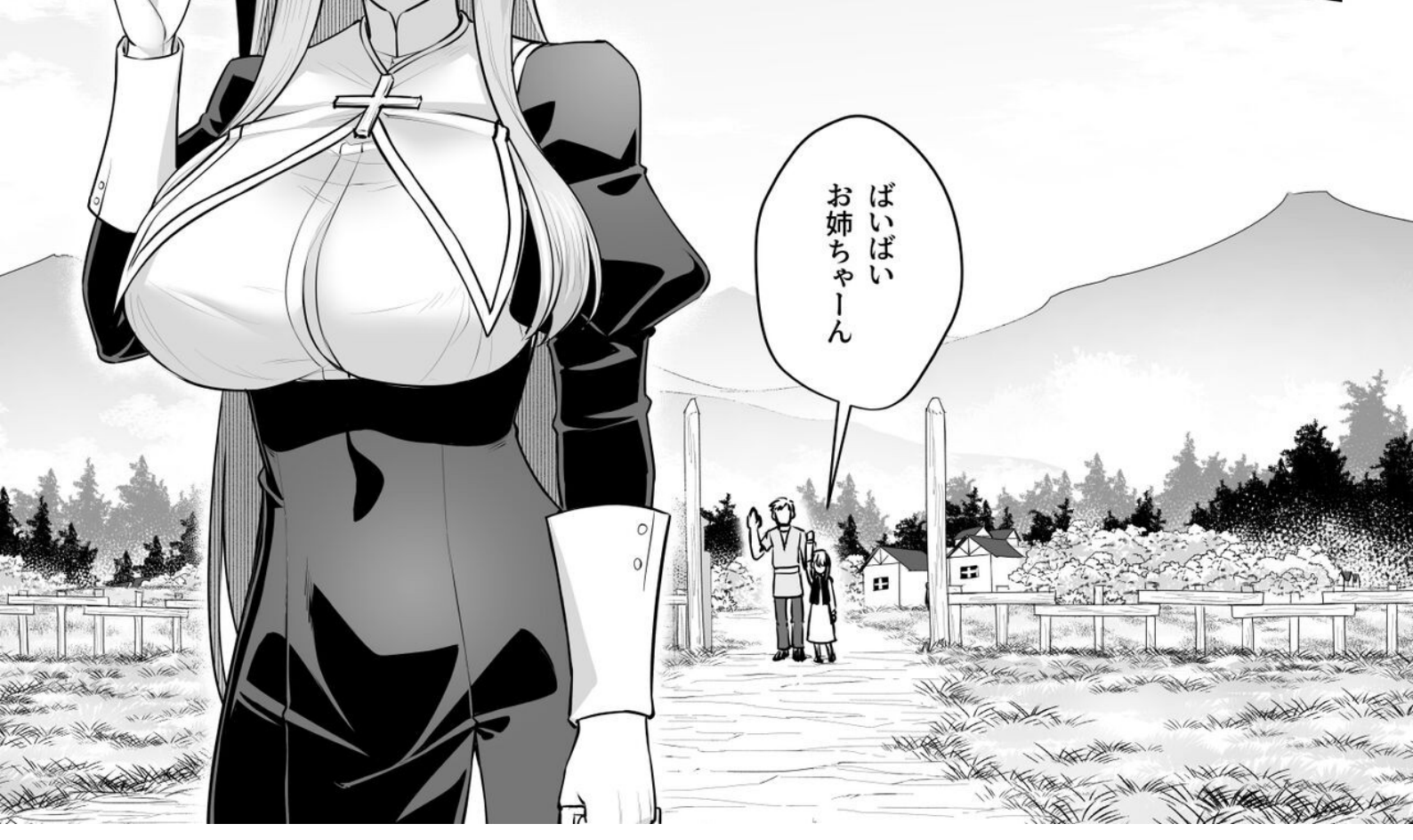
ホッ



そろそろ行きます
お元気で

本当にありがとうございました

ばいばい
お姉ちゃん









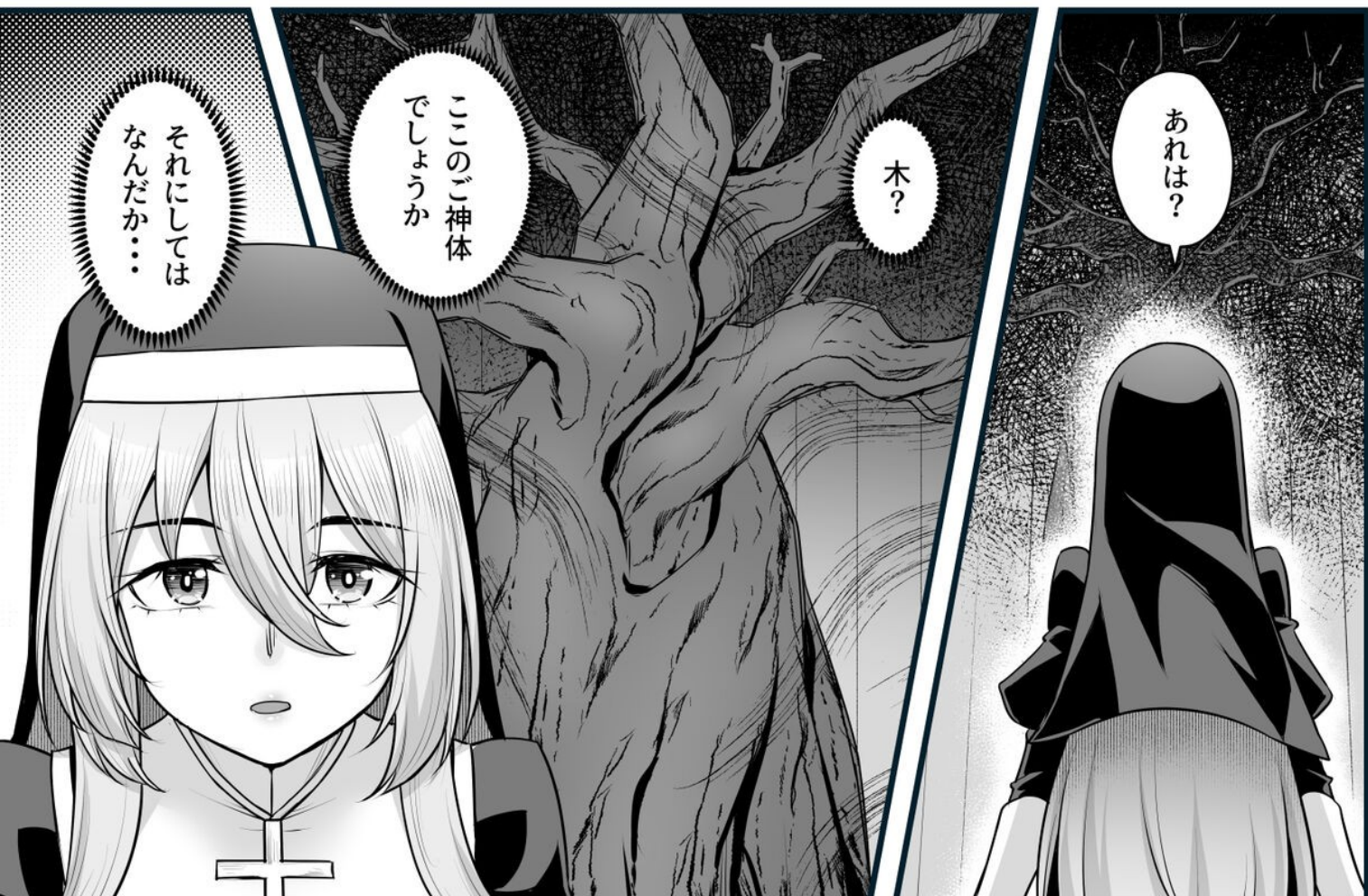


荒れた様子も
ありませんし

大丈夫そうですね



定期的に掃除を
しているという
話でしたが



あれは？

木？

ここのご神体
でしょうか

それにしても
なんだか...

あれは
隠された神だ

!?

誰ですか!

久しぶりに獲物が
来たと思えば

創造神の下僕か

まさか
悪魔!?

なんて禍々しい魔力なの

いかにも

ここは我が主が
かつての戦にて
封じられた地

ふむ
なかなかの力を
秘めているようだ

ちょうどいい
我が神の復活に
協力してもらおうか

戯言を

悪魔の企みを
見過ごすわけには
行きません

ここで阻止させて
頂きます

主よ我に力を!



くっくっく

そんなッ
どうして!?

どうして
力が通じないの!?

ハア

ハア

ハア

く
く
く

未熟な人の子では
ここが限界のようだな

可哀想に

お前は自分より
弱いものしか相手に
してこなかったようだ

なっ

わたしはっ



抵抗は無駄だ

きゃあ

貴様を穢し
神への捧げものに
してやろう

くっ
は、はなせえ

入ってくるなあ!

もぞ

びるん

ああっ

いやっ
みるなあっ

堕ちたお前はさぞかし
神を喜ばせるだろうな

ふふふ
実に豊満な身体だ

びるん



その強がり
がいつまで続くか
見ものだな

ニイ

ふざけないで
主は見守って
おられます

私の信仰は
変わらないわ!



くっ
やあ
動くなあ

ぐに

肉体の檻に囚われる
人間風情が快楽に
抗えるものか

信仰など
あやふやなもの

むぎゅう

くり



触れられたところが
熱くなってる!?

やっなにっ

ここも膨らんで
悦んでいるのが
わかるか?

クア

クワ



は、あ、あ、あ

今のはいったい

イクのも初めてか

実に弄りがいのある
雌だなお前は

じゃあ



ッ!?

ちがッ



そら御開帳だ

ク

これが今から
お前の初めてを
奪うものだ

×キ

×キ

よく見ておくがいい

×キ

ひっ

そんな大きなもの
は、入るわけっ

壊れてしまうわ

お、大きい!!

あうあ
ああああ





主はいつも見守って
くださるはず

お、怯えてはだめよ
チャンスは必ず
あるはずだわ

くっくっく



さあ入るぞ

ぐり

みり



あああああ

レレレレ

あが

ゴッ

みち

どうだ膜を破かれ
膣が広げられる感覚は

ライ



そんな事では先が
思いやられるぞ

入れただけで
声も出ない有様だな

うぐう
うるさこ



うああ
うああ

かは



あぁ

まじ
動くなっ

まだ固さがある
この肉壺がいずれ

淫らに雄を飲み込む
ようになると思うと
昂ぶりが抑えきれぬよ



くくく
その意気だ

ブルル
ブルル



ならないッ

誰がお前のッ

あぢ
ああ

思い通りになどッ

くかかか

いつまで
強がれるかな?

早く何とかせねば
媚毒がどんどん
浸透していくぞ

ずぶ
ずぶ
ずぶ
ずぶ



はあッ

まずいッ
痛みがだんだん

はうッ

ツツ

やめ

それにお腹の奥が
熱くなって

効いている
ようだな！

次はその子宮に
直接注いでやる！

これ以上なんて

いやっ
わたしッ

あっ

ああ

だめ
えええええん！！





そこは不浄のっ

こちらも喜んで
神に差し出すように
寝なければならぬ

いやあ

触るなあ

ビクワッ

あ

あまあま

はい、えい、うううう

腸から染渡る
媚毒は格別だぞ

大



うぐ
くろっ

おんおん



そらとんとん
入っていくぞ

いやあ
はぐっ

ズグググ



いやっ
おなかつ
ごんな

もに

ひぎ
もうやめてえ

ガ
ワ
ン

もうはいらなっ

ずぬぬぬ



その苦しみも
快樂とするのだ

そうなった時
我が神に相応しい
巫女となるだろう

ワ
ン

みち

みち

ずぬぬ



抜いて欲しいかね？

いやあ

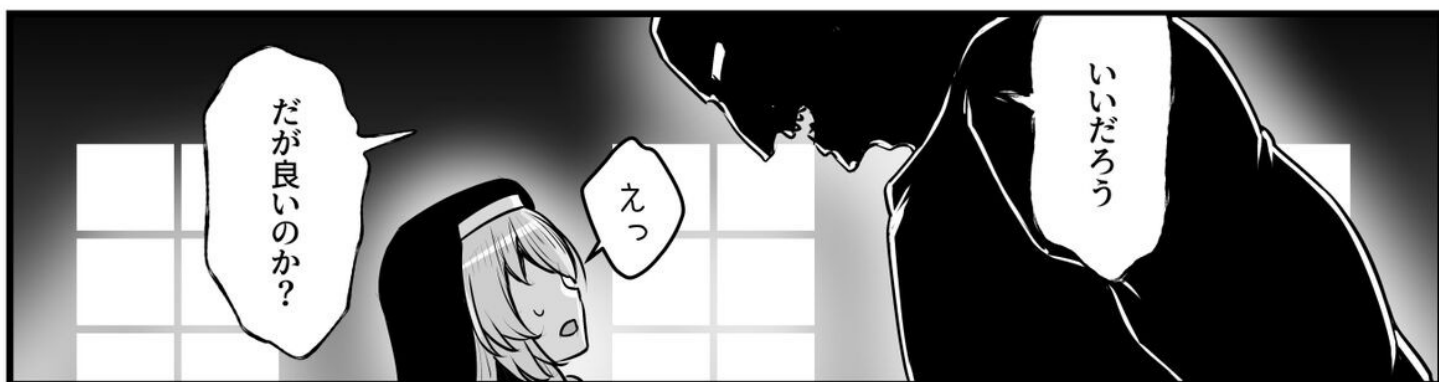
うせ
こんなんっ

くくく
まるで妊婦の
ようだな



キッ

と、当然ですっ



いいだろう

えっ

だが良いのか？



媚毒が回った腸全体を
触手が擦っていくのだ

あ

引き抜く衝撃は
どれほどのものにな
るのだろうか？

気をしっかり
持つのだぞお

あああ

ま





つしまで

いつまで耐えれば
良いのですか

ぬ

び

び

び

ぬ

び

び

び

び

び

び

び

び

ぬ

チュポニ

ふふふ
随分なじんだな

ぽっかり開いたまま
物欲しそうに震えて
いるじゃないか

うああ

あんなこと続けられて
もうわけがわからない

ドク
ドク
ドク

ドク
ドク
ドク

ズ
ズ
ズ

苦しいのか

気持ちがいいのかすらも

ドク
ドク
ドク



呆けている
暇はないぞ

本番は
これからだ

ひっ

そ、そんな

おおきすぎる

諦めて
受け入れろ

せいぜい壊れぬよう

神に祈るのだな!

ほら、はい

やめ、
壊れちゃう

おっ

ク
ッ
ッ

ク
ク

ク
ク

ク
ク

ク
ク

ガ
ガ

ガ
ガ

ガ
ガ

ガ
ガ

ガ
ガ

お
お
お

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク

ク







堪らんといいた
様子だが

はひっ

はひい



あがっ

ああっ

ひぎっ

ひぐっ

こんなの
耐えられないッ

内臓全体
押し潰されるッ



こっちも同時に
使えないとな

くちい

ビロ



いっしょに
なんへ

おかしく
なっひゃう

ふえ

せんにゃ



こわれ
ちゃうわ
ふうふう

くはははは
いいぞつ

前はかみこで
やったら

マンをはきめうと
抱きしめおる



あついのっ
はいつてくるらッ

あつあつ
あつあつ



褒美に精を
くれてやろう

ブル
ブル





ふうむ

反応も鈍く
なってきたな

あああ

うあ
おねが

ひう
ゆるひ



あああ
うあああ

いああ



そろそろ
終いとするか

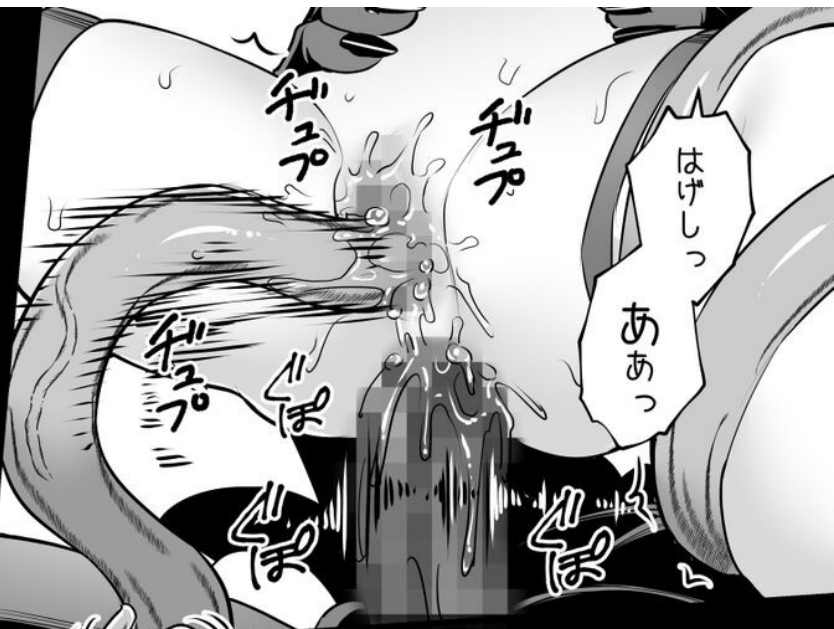
ムム



また

うぶっ

が
ホ



ジュッ

ジュッ

はげしっ

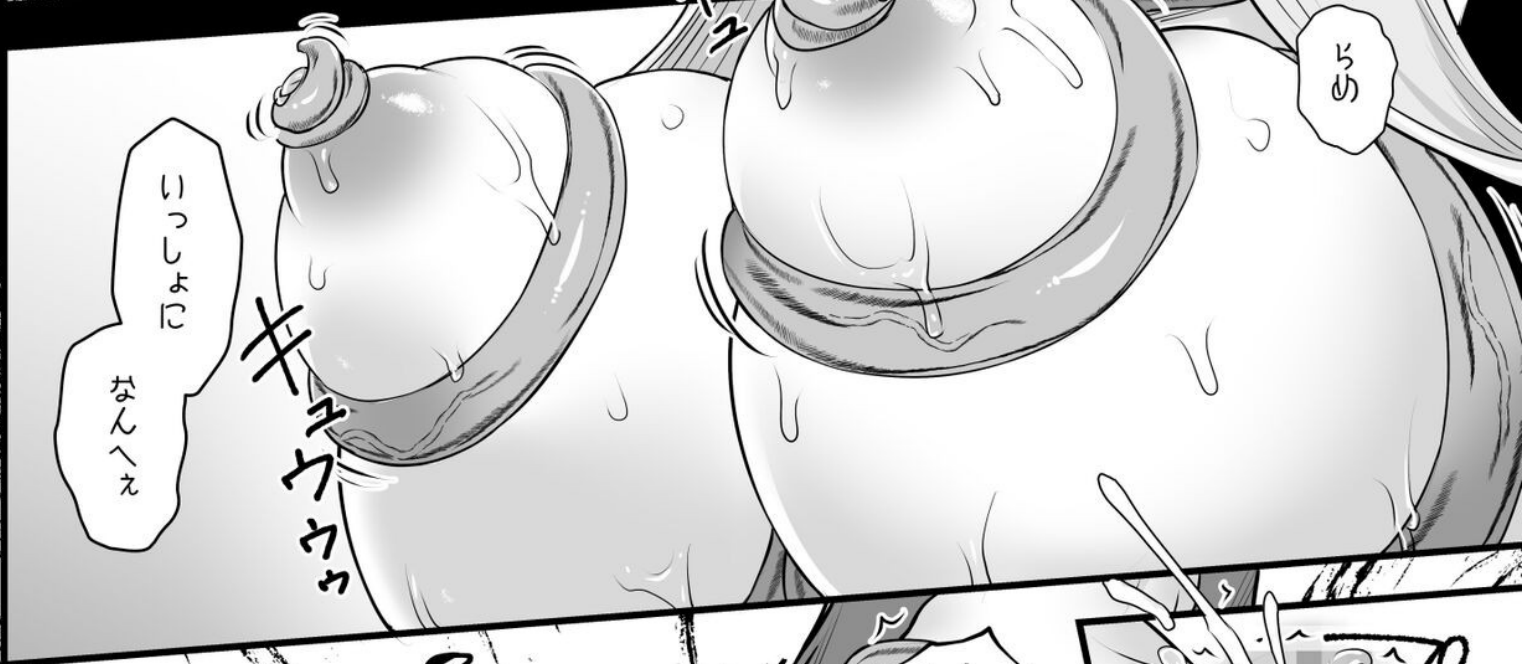
ああっ

ジュッ

ジュッ

ジュッ

キッ

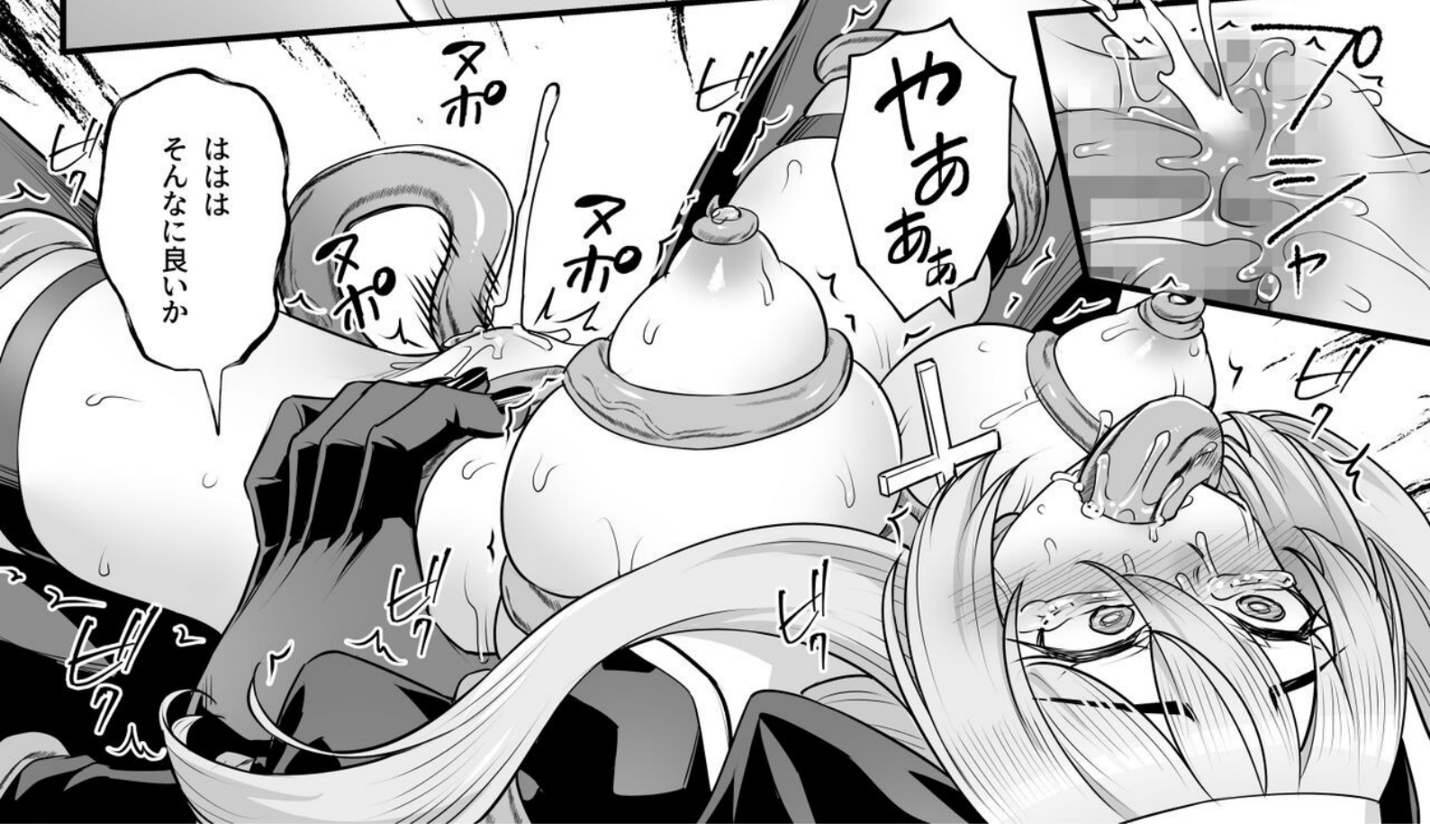


らめ

いっしょに

なんへえ

ジュッ



ははは
そんなに良いか

ヌホ

ヌホ

ヌホ

やあ
あ

ジュッ

ジュッ

ジュッ



ひあああ
とまひひゃ

あひん

突くたびに
イクではないか



やめええ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ

ちゅぽ



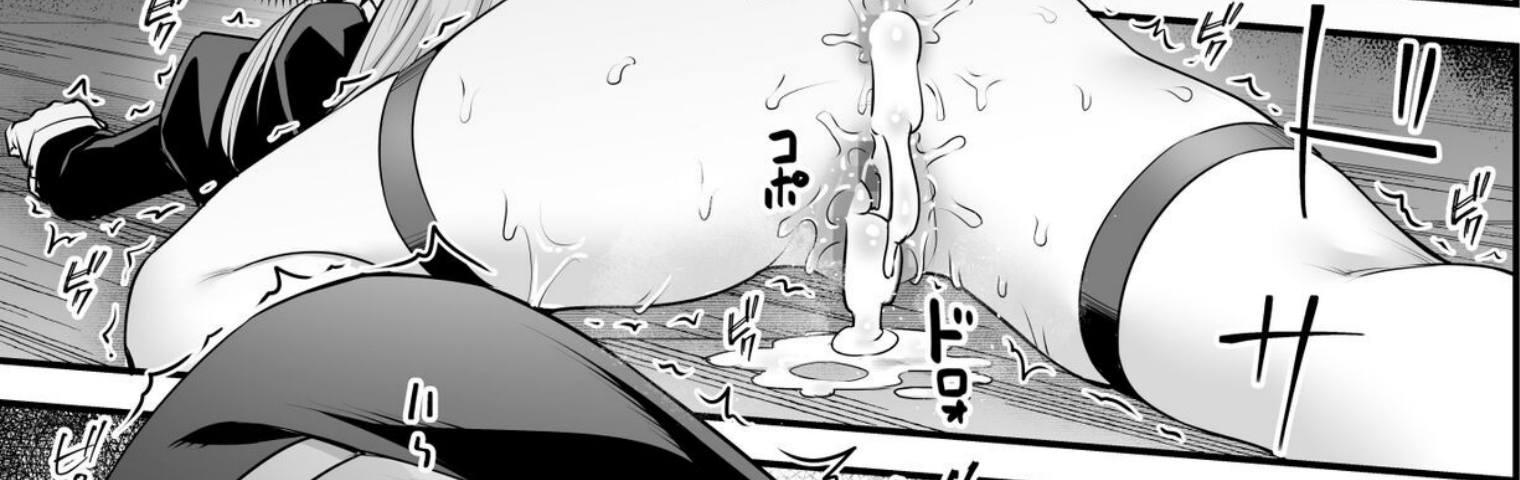
ア

イッ

主よどうして

全ての穴で我が
精を受けるがいい







あゝあゝあゝ

キ
イ
イ



びらあ

信仰もどど割れ

息も絶え絶え
といったところか

う

あ

だがこのままでは
我が神に捧げるには
まだ不足だ



あ、
あま

お前には自ら望んで
その身を捧げるように
なってもらうぞ

くくく
はーはっはっはあ



《奥付》

発行日：2024/5/3

サークル：エリア14

執筆：かせい

タイトルデザイン：最古青

E-mail：kasei.info@gmail.com

FanBox：<https://hkasei.fanbox.cc/>

Fantlia：<https://fantia.jp/fanclubs/1980>

Ci-en：<https://ci-en.dlsite.com/creator/16469>

無断転載および複製、ネットへのアップロードはご遠慮ください

KASEI



巨乳修道女

リアーナの敗北

